

第27回石川県立高松病院

こころの臨床学会を開催しました



平成27年3月7日(土)石川県立看護大学において、第27回石川県立高松病院こころの臨床学会を開催しました。

今回は、「地域で暮らす—医療と福祉の連携—」をサブテーマとして8部署から日頃の研究成果が発表されました。

また「地域で発達障がい者を支える」をテーマとして行われたシンポジウムでは、国立病院機構医王病院の大野先生は自身の病院における診察状況や診断などについて、発達障害者支援センターの中島先生は長年にわたり発達障害の方を支援されてきた経験から連携における問題点と今後の課題について、石川県障害保健福祉課の石原先生は行政の立場から制度や支援の実際について、当院の池田看護師は入院中の発達障害の方を退院へと導いた経験から話をされました。それぞれの立場から発達障害のある方に真摯に向き合っている姿が見られ、それぞれの垣根を取り払い、今後ますます連携していく事の必要性を感じたシンポジウムでした。

開会式

北村院長から開会宣言



研究発表・シンポジウム

研究発表では各部署が1年もしくは2年間

取り組んできた成果を発表



臨床研究奨励賞

優秀な臨床研究の業績を表彰



今回の受賞者

閉会式

研修委員会委員長
日野先生から閉会宣言



お疲れ様でした